06 PROJECT FILE

環境学校支援プロジェクト

Japan

環境に対し自ら行動できる『環境メッセンジャー』の育成に取り組んでいます。

地球上のあらゆる地域で、異常気象や生態系の破壊、動植物の絶滅などが報告されています。これからの地球を考えると、地球環境を大切に考え、環境活動を実践し、それを広めていける人が必要です。

そんな「人」を持続的、継続的に育てることを目指し、NPO法人セブンサミッツと一緒に日本各地で環境学校を開催、「自分から行動し、メッセージを発信できる人、“環境メッセンジャー”」を育てる活動を進めています。

■04年度の環境学校報告

開催地	日程	参加者数	年齢幅
富士山	2004年7月26日～31日	34人	10歳～16歳
白神	2004年8月18日～21日	11人	17歳～22歳
屋久島	2004年12月26日～28日	13人	16歳～21歳
小笠原	2005年3月26日～31日	16人	12歳～17歳

■メッセンジャーミーティング

東京	2005年1月30日	34人	10歳～22歳

環境学校とは

03年度から行っている環境学校では、「気づく」「考える」「動く」の3つの循環を学習して、最終的に「自ら動き」「自ら発信する」ことに繋げることを目標としています。
基本プログラムは、まず、自然そのものや、自然と人との関わりの「良い所」と「悪い所」を両方体験、毎日夕刻に「ふり返りの時間」を持ち、その日に気づいたことや感じたこと、「もっとこうすれば良いのでは」という自分なりの解決策などをディスカッションし、仲間に発表。各サイトから普段の生活に戻ってからも、家や学校でどのような工夫をしているか、ほかの人にどのようなメッセージを発信しているかをレポートする、そして一連のメッセージをWEBで発信する、という構成になっています。
環境学校に参加した子どもたちのメッセージを、セブンサミッツのホームページから読んでいただくことができます。

2004年の活動

●富士山、白神、屋久島、小笠原の4ヶ所で環境学校を開催、74名の環境メッセンジャーを育てました。（環境学校の概要は下の表をご覧ください。）

●環境メッセンジャーとしての活動

04年度は基本プログラムに加え、各環境学校の参加者が東京に集い、「メッセンジャーミーティング」を行いました。全国に散らばる参加者の約半数が集まり、自分達のその後の環境活動を報告したり、地球温暖化をテーマに学習し、自分の生活の中の問題点や、反対に「ちょっとしたできること」を見つけたりしました。
また、03年度に参加した高校生など高学年の生徒たちが、今度は運営の補助スタッフとして参加するケースもありました。教えるためには伝える以上の経験が必要になり、これも個人学習の一環です。同時に、「環境メッセンジャー」としての行動とも言えます。

今後の活動

継続して環境メッセンジャーを育てていきます。が、04年度の活動を通して2つの課題を見つけました。一つは、「環境学校卒業生=環境メッセンジャー」ではないということ。反対に、環境学校卒業生でなくても、行動し、メッセージを積極的に発信している人は「環境メッセンジャー」です。
もう一つの課題は、社会に対して発信する機会が少ないということです。環境メッセンジャー認定基準と、社会に対する発信の場、この2点について特に考えながら、05年度も各地で環境学校を開催してまいります。

プログラムテーマ①	プログラムテーマ②	ACTIONS
ゴミ問題	エコロジー＆エコノミー	富士河口湖町への提言
自然との共生	入山等の規制法	登山道整備
観光と環境	トイレ	ポスター貼り
エコツーリズム	公と個の環境保護	自転車廃棄
食	地球温暖化	一人一人の地球温暖化議定書作成